二　氣象による災害

冬季における降雪は空中の窒素を含有し積雪による鎮壓は幼麥の根毛を繁茂せしむるの效果をもたらすが、晩春季に海洋方面より卷き來る濃霧は、海水の鹽分を含有するが故に、麥類出穗期に及ぼす被害の影響は夥しいことがある。六月より九月の頃は雨量が多く、特に吉野川の上流水源地である土佐の豪雨は直ちに吉野川の増水を來たして氾濫し、夏季において屢々その被害を見たのであるが、吉野川の改修築堤後は稍ゝ減少した。しかし豪雨連日に亙る時は、土地の降雨が吉野川に排水しないために、稻の浸水が連日に及びその害を被ることが屢々ある。

また豪雨連日に亙る時は、斷層線上にある樫原地區に山崩れを生じ、その土砂は一時に下流に押流されて人家を埋め、耕地を潰す等の慘被害を繰返していることは私達に耳新しいことである。最近の記錄としては、明治三十二年の山崩れには家屋埋沒八戸、家と共に埋沒死者七名を出し、下流の耕地は殆んど土砂にて潰滅するという慘事あり、それ以前にも傍示ケ谷の上流に山崩れがあり、いま大潰（おほつぇ）と稱せられる、相當廣範圍な崩壞の跡が殘っている。

本史執筆中、樫原奥地の山岳に一大龜裂を生じ、山崩れの前兆を想わしめた。過去の山岳崩壞の經驗から考えると、今回の龜裂は相當廣範圍に亘っているので、樫原名部落及び同下流地區の人家は殆んど全滅に瀕する狀態となりかねまじき有樣である。乃ち村當局は、七月十三日縣治山課より實地踏査を乞うと共に、九月十三日これが應急對策施工に關し、古川村長は縣廳係員及び縣會議員等と共に上京し、本省に陳情調査方を依頼する所があり、近く大規模の施設が實現せんとしている。

その他天候に依る自然災害としては、毎年夏季の半ばより初秋にかけて襲來する暴風雨であり、その强烈な風速に依っては農作物等の被害のみに止まらず、家屋の倒壞、人畜の殺傷等の慘害を被ることが多い。

就中最近における記錄としては、昭和九年の風水害は最も激甚を極め、本村においても家屋の倒壞等に依り死傷者を出すの慘狀を呈したが、本年九月三日襲來のジェーン颱風もまた風速三十米を超え、その被害甚大で、家

屋倒壊十二棟、壓死、水死等三名、重輕傷者十數名に上り、本村中央を貫流する九頭宇谷川及び本村と板野郡御所村を界する熊谷川は何れも決壊するの慘狀を呈した。

なお本縣における暴風雨の風速及び雨量を徳島測候所の記錄によつて表記することにする。

徳島縣附近を通過した台風（明治二四年―昭和二五年）

台風來襲年月日	最低氣壓(+)七〇〇mm	風向	風速(米―秒)	雨量(粍)	記事
明治二四・八・一六	三三・六	ESE	一五・七	一二四・一	土佐灣上陸北上
二五・七・二三	三三・八	SE	二三・三	一二六・八	室戸岬上陸北々西に進行
二五・九・二三	三五・三	N	七・一	一二三・四	南部岸東進
二九・九・一一	三五・七	N	一九・七	二〇三・三	同　上
三二・九・八	四八・八	NW	一三・八	九五・三	同　上
三七・八・三一	四〇・七	NE	九・二	一七一・〇	室戸岬上陸北東進
三七・九・一一	三二・一	NNW	八・〇	一四七・五	紀伊水道北上
四〇・六・二七	四九・九	WEW	四・五	三八・三	土佐灣上陸北東進
四一・六・二六	四八・八	S	五・五	一二・〇	南海岸北東進
四三・九・八	五二・五	NNE	六・七	一〇五・七	縣北東進
大正一・八・二四	四四・六	SE	一四・七	一四一・六	土佐灣上陸北東進
一・九・二二	三一・三	E	一四・四	四三〇・九	室戸岬上陸北東進
一・一〇・二	五一・三	S	八・〇	四六三・四	土佐灣上陸北上
一・一〇・三	五一・八	SSE	五・〇	—	同
四・八・五	三三・九	NE	一〇・六	一五四・六	紀伊水道北上
六・八・三	三九・七	F	一六・三	一一九・二	室戸岬上陸北上
六・一〇・一〇	三九・五	SE	二四・七	一九一・〇	土佐灣上陸北東進
七・八・八	四九・〇	SF	一五・四	一三六・六	南海岸北東進
七・九・一四	三六・八	NW	二二・一	一六四・三	同
九・八・二一	四四・八	ESE	一四・七	八五・二	室戸岬上陸北西進
一〇・八・二六	四三・五	SE	一五・九	四八・三	室戸岬上陸北東進
一二・八・三一	四七・九	SE	一四・八	八六・一	土佐灣上陸北東進
一三・七・一六	五〇・九	S	七・四	四一・一	紀伊水道北上
一三・九・二九	四八・五	NW	一一・四	一一九・四	同
一三・一〇・八	四八・三	E	一一・八	五五・九	南海岸東進
一四・八・一一	三八・九	WSW	八・六	五三・七	紀伊水道北上
昭和二・九・一三	四九・四	SE	五・二	一二・五	南海岸東進
三・七・五	五八・五	WNW	三・三	—	紀伊水道減消滅
四・六・五	四六・九	ESE	一三・五	三一・四	縣北東進
四・八・一五	三八・九	ESE	一四・八	七一・四	土佐灣上陸北東進
六・一〇・一三	四三・七	WNW	一〇・九	一七六・六	室戸岬附近東進
八・九・二〇	四八・〇	SSE	九・六	四三・九	同
九・九・二一	一〇・七	SE	三六・七	五〇・五	室戸岬上陸北東進
一〇・七・一二	五六・九	SSE	七・六	—	縣北東進
一二・九・一一	三二・八	SSE	三二・二	一〇九・七	土佐灣上陸北上
一三・九・五	二四・七	ENE	二九・三	九一・〇	南海岸上陸北上
一六・八・一五	二九・九	ESE	三七・八	七一・四	土佐灣上陸北東進

一七・八・三一	四六・三	SE	一三・三	四九・七	同
一七・九・二一	四一・八	SSE	一六・七	二五五・九	同
一九・八・七	四七・六	NNW	一六・八	三五・九	紀伊水道北上
二〇・八・二五	四九・三	SSE	二二・八	九五・六	土佐灘上陸北上
二〇・九・一七	七三・三	SSE	二九・三	一三四・二	九州上陸瀬戸内海北部を北東進す
二〇・一〇・一〇	四六・二	SSE	一六・七	四七八・六	同
二一・七・三〇	四二・二	SE	二五・四	一五五・七	豊後水道北上す
二三・一一・一九	四八・一	W	一六・二	一〇・四九	土佐沖を東に通過（アグネス台風）
二四・六・二一	四五・九	S	二二・六	一一五・七	九州上陸瀬戸内海西部を北東進す（デラ台風）
二四・八・一八	四八・三	SE	一四・〇	二〇九・二	九州西海岸、對島海峡を經て山陰沖に進む（ヂュディス台風）
二五・九・三	二七・三	NNW	二九・三	二四一・五	徳島縣東部を北に東進す（ジェーン台風）
二五・九・一四	五〇・二	SE	二四・七	九八・九	九州を縦斷後北に東進す（キジア台風）